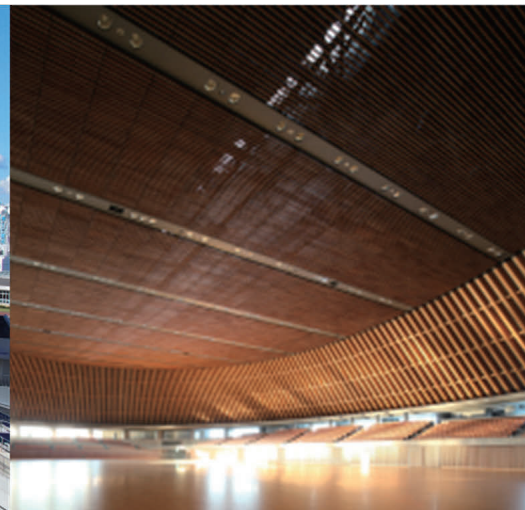


■ JR東静岡駅周辺を探索する

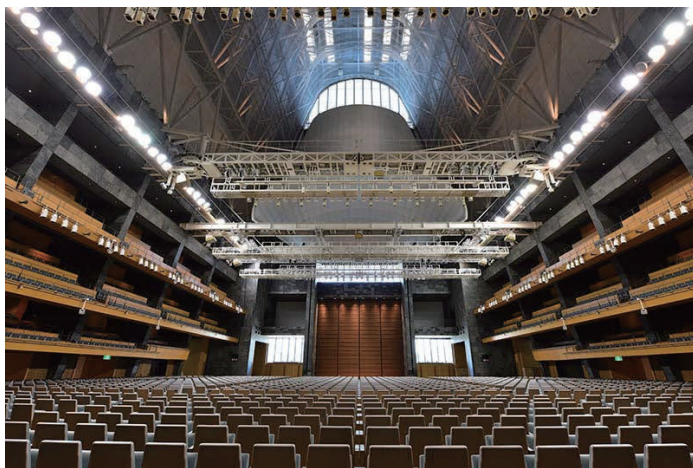


静岡県景観賞HPより



⑦このはなアリーナ（県営草薙総合運動場）

内藤廣氏の設計。バスケットボールコート4面、2,700席の観客席（最大収容4,000人）を備え、アマチュアからVリーグなどのプロスポーツまで対応。巨大な建物が周囲の自然と溶け込み、圧迫感を見事に解消している。大空間を覆う大屋根は、天竜スギの集成材を斜めに掛け渡し、木に抱かれた大空間を演出、心地よいリズム感と温かみに溢れていた。



⑧静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）

故磯崎新氏の設計。地下2階地上12階建て、延べ床面積60,360㎡の県内最大規模のコンベンション施設。1999年頃から屋根材のスペイン産天然スレートが相次ぎ落下し社会問題に。現在は三角形形状のメッシュで覆われている。



○景観計画重点地区

並木道や公園、公共施設等の都市機能の整備が進められ、都市拠点らしいまち並みを形成。富士山を望む眺望の確保とともに、建築物等の色彩や屋外広告物の規制、低層部の賑わいを演出するためのデザイン誘導等が行われている。

